

令和7年度 第1回香美市廃棄物減量等推進審議会（会議録要旨）

開催日時：令和7年10月30日（木） 午後2時から午後4時

開催場所：香美市立ふれあい交流センター 2階会議室

出席委員：濱口委員、宮地委員、石川委員、萩野委員、宮内委員、田村委員、

和泉委員、川崎委員、細見委員、横谷委員 計10名

欠席委員：西内委員、為近委員、池田委員、大野委員 計4名

事務局：（環境課）依光課長、公文班長、谷係長

（㈱東和テクノロジー）門脇部長、佐伯部長

【会議録要旨】

1. 開会

（1）依光市長挨拶

- ・現行の基本計画（平成27年度策定）は目標年度を迎えるため、令和7年度中に新たな基本計画を策定する必要がある。
- ・焼却処理は南国市のまほろばクリーンセンターを利用しておらず、施設の長寿命化・負担軽減の観点から分別の徹底と可燃ごみ削減が重要。
- ・手数料見直しの検討も併せて求める。

（2）自己紹介

2. 議題

（1）審議会長及び副会長の選任

- ・会長：横谷委員（承認）
- ・副会長：細見委員（承認）

（2）香美市一般廃棄物処理基本計画について

- ・計画目的（市町村に策定義務のある一般廃棄物についての長期的な基本方針と施策を定める計画）、策定スケジュール（審議会3回・パブリックコメント実施・令和8年3月策定）、計画概要（令和8年度から令和17年度までの10年計画、ごみ排出量の現状、現行計画の総括）について説明し、ごみ排出量の将来推計、将来目標、生活排水計画については、次回の協議とすることを報告する。

（主な意見及び回答）

- ・太陽光パネルの廃棄：業者が撤去すれば産業廃棄物、個人が外して持ち込む場合は一般廃棄物となる可能性があり、受入れ先不足とコストの問題が指摘された。
- ・ごみステーションに置かれる処理困難物（ガスボンベ・消火器・家電等）への対応：市が最終的な処理責任を負い、私有地への不法投棄については個人に処理責任がある。申出により処理処理費用の減免制度がある。

- ・充電池の回収：市内のリサイクル協力店（家電量販店等）での引取や、市が支所等での受入れを検討中。膨張した電池等は引取不可の場合あり。充電池・電池類の安全回収体制の整備について要望なされた。
- ・生ごみ処理容器の補助金：毎年予算を計上しており、EM コンポスト、コンポスター、電気式処理容器に補助。ただし、来年度以降の継続は財政状況次第。補助開始は 4 月 1 日から受付を予定。
- ・高齢者・障害者世帯の支援：令和 5 年 10 月から戸別収集を開始。粗大ごみの戸別収集は現段階で実施していない。
- ・事業系ごみ（農協の出荷時袋の破損分など）の有効活用への期待。

(3) 一般廃棄物処理手数料の見直しについて

- ・ごみ処理経費の上昇、ごみ排出量の抑制を図るため、ごみ袋料金等の改定を検討することを説明する。

(主な意見及び回答)

- ・見直し対象：可燃・不燃・資源・事業系可燃等全般とする。
- ・実施時期：令和 9 年 4 月予定。
- ・近隣市の状況：香南市は見直し検討中、南国市は現状維持。
- ・値上げによる収入増を生ごみ処理容器補助拡充などごみ排出抑制施策に回す提案がなされた。
- ・ごみ袋値上げは市民負担につながるため説明と周知を十分に行うべき。値上げ分の用途（削減対策・補助金増）を明示することが望ましい。

(4) その他

- ・次回会議日程　日時：令和 7 年 12 月 1 日　午後 2 時から
　　場所：香美市役所本庁舎 3 階 301 会議室

3. 閉会